

2020 九州ロードレース選手権シリーズ

# 大会特別規則書

SUPPLEMENTARY REGULATIONS



# KYUSHU ROAD RACE CHAMPIONSHIP

Round 1	3.22 sun
Round 2	4.12 sun
Round 3	5.31 sun
Round 4	6.28 sun
Round 5	8.23 sun
Round 6	9.27 sun



主催：オートポリス倶楽部 (APC)、SPA 直入スポーツクラブ、株式会社レインボーマーターズスクール  
公認(承認)：一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

コース：●オートポリスインターナショナルレーシングコース(4.674km) ●SPA 直入コース(1.43km) ●HSR 九州サーキットコース(約2.35km)

株式会社オートポリス  
〒877-0312 大分県日田市上津江町上野田 1112-8  
TEL:0973-55-1111 FAX:0973-55-1113

SPA 直入スポーツクラブ  
〒878-0403 大分県竹田市直入町大字上田北字浦原 510-15  
TEL:0974-75-3191 FAX:0974-75-3195

株式会社レインボーマーターズスクール  
〒869-1231 熊本県菊池郡大津町平川 1500  
TEL:096-293-1370 FAX:096-293-1371



**2020**  
**九州ロードレース選手権シリーズ**  
**大会特別規則書目次**

ロードレースにおける二次災害防止の遵守事項	2
サーキット走行に関する規則	3
特別スポーツ走行（練習走行）のご案内	19

**第1章 総則**

第1条 競技会名称	6
第2条 主催者および連絡先	6
第3条 開催場所	6
第4条 大会役員	7
第5条 参加資格	7
第6条 開催日程、開催クラスおよび 参加資格	7
第7条 参加料金（税込）	7
第8条 参加申込	8
第9条 受理書、クレデンシャルパス ならびに車両通行証	9
第10条 参加車両	9
第11条 チーム名	9
第12条 決勝最多出場台数・決勝周回数	9
第13条 参加受付	9
第14条 ライダーのエントリー、 変更ならびにダブルエントリー	10
第15条 参加者の遵守事項	10
第16条 走行中のライダーの遵守事項	11
第17条 主催者の権限	12

**第2章 競技規則**

第18条 コースへの進入	12
第19条 ピットレーンへの進入	13
第20条 ピット作業	13
第21条 公式車検	13

第22条 ライダーズブリーフィング	13
第23条 スタート前チェック	14
第24条 公式予選	14
第25条 決勝グリッド	14
第26条 レース終了	14
第27条 仮表彰	15
第28条 レース終了後の車両保管、再車検	15
第29条 大会賞典	15

**第3章 参加車両規定**

第30条 車両規則基本仕様	15
第31条 フロントゼッケン	15
第32条 自動車番読取装置（トランスポンダー）	16
第33条 使用ガソリン	16

**第4章 その他**

第34条 2019 九州ロードレース選手権 シリーズランキング	17
第35条 シリーズ賞典	17
第36条 大会役員の責	17
第37条 本大会特別規則の解釈任	18
第38条 大会特別規則ブルテン	18
第39条 公式通知	18
第40条 負傷時の医療室受信義務	18
第41条 その他	19
第42条 規則の施行	19

# ロードレースにおける二次災害防止の遵守 事項転倒、または故障停止したら

## 2 次災害防止

転倒したら 2 次災害の防止。

転倒、もしくは故障で停止した場合、後続車にひかれる、あるいは後続車を転倒させる等の 2 次災害事故の増大を防止するよう心がけてください。

## まず安全確保

転倒したら、状況判断により、安全な所にできるだけ早く避難してください。特に、オイルによる転倒は、後続車も同じ所に次々と転倒していきます。

## 後続車への合図

ポストから黄旗が振られますが、できるかぎり後続車に知らせる努力をしてください。タイミングを見て、電源と燃料コックを OFF にして火災や燃料漏れの防止をしてください。

## 障害物のかたづけ

オフィシャルと協力して散乱部品のかたづけを素早く行ってください。オイルやガソリンがこぼれていたら処理作業も素早く行ってください。安全上、走ってくるレーサーに背中を向けられないよう心がけてください。

## コース内はヘルメットを

自分が転倒した所は他のライダーも転倒しやすい場所です。他のライダーがいつ飛び込んで来るか分かりません。ガードレールの外に出るまではヘルメットを被ったままで行動してください。コース内（グリーンも含む）にライダーがいる間は黄旗が振られ、追い越し禁止です。他のライダーを拘束しますので、できるだけ早くコース外に退場してください。

## 再スタート

マシンが再スタート可能かどうかの確認をしてください。

マシンの点検はコース内の危険な場所で行わないでください。オフィシャルの指示に従い安全な場所に移動してください。

- 1) オイル、ガソリン、冷却水、ブレーキオイル等の漏れがないか確認をしてください。オイル漏れなどがあった場合は、無理にピット帰還はしないでください。
- 2) 走行に危険のある部分の破損、重要保安部品の破損がないか、また破損部分が鋭利になり 2 次災害を与えないか確認してください。
- 3) カウリング内に泥、砂利、草等が入っていないかを確認し、またタイヤに泥が付着したままライン上に復帰してはいけません。後方の安全を十分に確認し余裕をもってコースに復帰してください。

## 転倒車両を見たら

転倒したマシンは、オイル、ガソリン等をこぼす可能性があります。走行中に転倒車や黄旗を目撃したら充分注意して通過してください。

# サーキット走行に関する規則

## 1. 目的

本指導要項は、一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会（以下 MFJ という）が、ロードレースコース（サーキット）において走行する際の基本的な走行方法、マナーなどについて指導するための基準である。

## 2. 定義

- 1) サーキット走行は、全ての者が、その持ち得る技量および車両の能力において、でき得る限りより速く、かつ安全に走ることを目的として走行しなければならない。（後述のスロー走行除く）
- 2) レコードラインの定義  
レコードラインとは、そのサーキットをでき得る限りより速く、かつ安全に走るための理想的走行ラインをいう。

## 3. サーキット走行における遵守事項

サーキット走行する際は、各サーキットごとに定められた規則を熟知し、当該施設の指導員・係員等の指示に従わなければならない。

### 1) 優先権

- (1) サーキット走行においては、基本的にはレコードラインを走行する者に優先権がある。
- (2) スロー走行中の者は、レコードラインを走行する者を妨げてはならない。  
スロー走行とは、以下をいう。故障車両／初心者／ならし運転中の者／コース慣熟走行中の者。スロー走行車は基本的にはコースピット側を走行する。
- (3) ピットロードにおいては、ピットインしてくる車両に優先権がある。
- (4) ピットアウトしてコースに復帰するライダーは、ピットロードを出て 2 コーナー出口に達するまでは、コースピット側に沿って走行しなければならない。その間、後方から近づく車両の走行を妨げてはならない。レコードラインへの合流に際しては、充分な速度まで加速しなければならない。

### 2) 走行中の遵守事項

- (1) シグナルおよびフラッグシグナルを確認し、その指示に従う義務がある。
- (2) 通常予想できない地点での不必要な急減速をしてはならない。
- (3) いかなる場合も、逆方向への走行あるいは規定外のコースを走行してはならない。
- (4) 直線部分では、前車を追い越す以外の目的で進路を著しく急激に変更することは禁止される。
- (5) 他のライダーの走行を妨害するような走行をしてはならない。
- (6) 必要以外にハンドルから手を離したり、足をステップから離し、また、外に突き出したたりするような危険な姿勢をとってはならない。

### 3) 転倒・コースアウト

#### (1) コースアウト

- ① もしコースアウトしたら、復帰する場合は後方を確認したのちコースに復帰することができるが、マシンの確認（破損・オイル漏れ・グラベルの砂利等）も留意しなければならない。
- ② トラブルなどで走行を止める場合は、マシンをコース外の安全な場所に止めてから退去する。

## (2) 転倒

- ① 自分が転倒もしくは故障で停止した場合、二次災害の防止つまり後続車にひかれる、あるいは後続車を転倒させる等の事故の増大を防止するように心がけなければならない。
- ② 転倒したら状況判断によりまず安全な場所へ避難すること、特にオイルによる転倒は、後続車も同じ場所で続々と転倒してくる可能性があるので注意すること。
- ③ 安全な場所から、でき得る限り後続車へ知らせる努力をすること。安全なタイミングを見て電源と燃料コックをオフにして火災やガス漏れを防止する。また、可能な限り散乱部品を撤去すること。
- ④ ガードレールの外に出るまでは、ヘルメットを着用していなければならない。
- ⑤ 転倒したマシンは、オイル・ガソリン等をこぼす場合が多いので、転倒車両を目撃したら次の周回は充分注意して走行すること。

## (3) コースへの復帰

- ① 安全な場所にてマシンが走行可能かどうか確認する。
- ② オイル・ガソリン・冷却水・ブレーキオイル等の漏れがないか確認する。漏れがあった場合は、無理にピットまで帰還しないこと。
- ③ 走行に危険がある部分の破損、重要保安部品の破損、または破損部が鋭利になっていないかを確認する。
- ④ カウリング内に泥、砂利、草等が入っていないか確認し、また、タイヤに泥が付着したままライン上に復帰してはならない。
- ⑤ 後方の安全を充分に確認して余裕を持ってコースに復帰する。

## 4) マシントラブル

- (1) 走行中にマシントラブルに見舞われた場合、レコードラインを走行するライダーの妨げにならないように注意してピットに戻ることができるが、後方の安全を確認し合図をしてからコースピット側を走行すること。
- (2) コース上にオイル等の液体を撒き散らす恐れのあるようなトラブルがあった場合は、スロー走行でピットに戻ろうとはせずに、すみやかにコースアウトして安全な場所にマシンを止めなければならない。
- (3) 車両は、自己の責任において安全装備等各サーキットにて要求される仕様を満たし、完全に整備されていなければならない。

## 5) ピットイン

- (1) ピットインする車両のライダーは、後方を確認したのち、コース左側に車両を寄せ、手または足でピットインの合図を行なったのち、安全を確保しピットロードを徐行しなければならない。

## 6) ピットエリア（停車区域）を走行することは禁止される。

- (1) ピットインする車両は、自己のピットにできるだけ近いピットロードからピットエリアに入り、自己のピットにできるだけ寄って停車しなければならない。
- (2) ピットロードのスピード制限は 60km/h（SPA 直入・HSR 九州 40km/h）以下とする。

## 7) その他

- (1) 常にスポーツマンとしての態度を保ち、品格を疑われるような言動は厳に慎まなければならない。
- (2) 走行時には、ライダーおよびピットクルーは、アルコール類あるいは薬品（興奮剤等）を使用してはならない。

#### 4. 損害に対する責任

- 1) 走行中自己の車両およびその付属品および安全装備等が破損した場合、また、サーキットの付帯設備等を破損した場合も、その責任は自己が負わなければならない。
- 2) 走行に際して起こった負傷等は、参加者自らが責任を負うものとする

## 【公 示】

本競技会は一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会（MFJ）公認のもとに国際スポーツ憲章・FIM 競技規則に基づいた 2020 MFJ 国内競技規則および、本競技会大会特別規則に基づいて開催される。

### 第 1 章 総 則

#### 第 1 条 競技会の名称

2020 九州ロードレース選手権シリーズ

#### 第 2 条 主催者および連絡先

##### ■第 1 戦・第 4 戦

【HSR 九州大会】

株式会社レインボーモータースクール

〒869-1231

熊本県菊池郡大津町平川 1500

TEL：096-293-1370

FAX：096-293-1371

##### ■第 2 戦・第 6 戦

【SPA 直入大会】

SPA 直入スポーツクラブ

株式会社オートポリス

〒878-0403

大分県竹田市直入町大字上田北字浦原 510-15

TEL：0974-75-3191

FAX：0974-75-3195

##### ■第 3 戦・第 5 戦

【オートポリス大会】

オートポリス倶楽部

株式会社オートポリス

〒877-0312

大分県日田市上津江町上野田 1112-8

TEL：0973-55-1111

FAX：0973-55-1113

#### 第 3 条 開催場所

##### ■HSR 九州（以下 HSR）

熊本県菊池郡大津町平川 1500

##### ■SPA 直入（以下 SPA）

大分県竹田市直入町大字上田北字浦原 510-15

■オートポリスインターナショナルレーシングコース (以下 AP)  
大分県日田市上津江町上野田 1112-8

#### 第 4 条 大会役員

公式プログラムにて公示する。

#### 第 5 条 参加資格

ライダー

第 6 条に準じた競技会当日に有効な MFJ ロードレースライセンスを所持している者。

ピットクルー

競技会当日に有効な MFJ ピットクルーライセンスを所持している者。

#### 第 6 条 開催日程、開催クラスおよび参加資格

大会	開催日	競技会	九州ロードレース選手権シリーズ								会場	
			公認レース									※ 1
		競技会格式	地方選手権 インタークラス				地方選手権 ナショナルクラス					S80
			Int JSB1000	Int ST1000	Int ST600	Int J-GP3	Int JP250	Nat ST1000	Nat ST600	Nat J-GP3		
		開催クラス										
参加資格 (MFJ ライセンス区分)	I				N	N/F	N/F/J	I/N/ F/J				
申込締め切り日	開催クラス											
第 1 戦	3月22日(日)	3月1日(日)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	HSR
第 2 戦	4月12日(日)	3月22日(日)			●	●	●	●	●	●	●	SPA
第 3 戦	5月31日(日)	5月10日(日)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	AP
第 4 戦	6月28日(日)	6月7日(日)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	HSR
第 5 戦	8月23日(日)	8月2日(日)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	AP
第 6 戦	9月27日(日)	9月6日(日)			●	●	●	●	●	●	●	SPA
開催数			4	4	6	6	6	4	6	6	6	6
備考	略号について I=国際ライセンス、N=国内ライセンス、F=フレッシュマンライセンス、J=ジュニアライセンス ※ 1:承認レース											

※ JSB1000/ST1000 は混走レースとする。(別表彰)

※ J-GP3・JP250・S80 は、開催コースにより混走となります。(別表彰)

AP: 3 クラス混走、SPA: 参加台数により変動。HSR: 参加台数により変動

#### 第 7 条 参加料金 (税込)

【全大会共通】

各クラス共通…………… 19,500 円

早期割引 …………… 16,500 円

## 【早期割引期間】

開催日	早期割引 申込期間
3月22日(日)	2月10日(月)～2月19日(水)
4月12日(日)	3月1日(日)～3月10日(火)
5月31日(日)	4月19日(日)～4月28日(火)
6月28日(日)	5月17日(日)～5月26日(火)
8月23日(日)	7月12日(日)～7月21日(火)
9月27日(日)	8月16日(日)～8月25日(火)

## 第8条 参加申込

### 1) 申込先・受付期間

日程	申込期間	申込先
3月22日(日)	2月10日(月)～3月1日(日)	HSR
4月12日(日)	3月1日(日)～3月22日(日)	SPA
5月31日(日)	4月19日(日)～5月10日(日)	AP
6月28日(日)	5月17日(日)～6月7日(日)	HSR
8月23日(日)	7月12日(日)～8月2日(日)	AP
9月27日(日)	8月16日(日)～9月6日(日)	SPA

- 2) 参加を希望する者は上記1)に定められた期間に、下記WEBサイトより申込を完了しなければならない。

AP・SPA [https://www.ms-event.net/apweb/user/?a=race.race\\_entry\\_list](https://www.ms-event.net/apweb/user/?a=race.race_entry_list)

HSR [http://www.hsr.jp/motor\\_sports/circuit\\_course/event/kyushu\\_road\\_race.html](http://www.hsr.jp/motor_sports/circuit_course/event/kyushu_road_race.html)

原則WEBエントリーのみの受付とするが、やむを得ぬ事情によりその他の方法でのエントリーを希望する者は、各主催者に直接連絡をし、主催者より指示された方法で参加申込をすること。その場合でも、上記1)に定められた参加申込期間は厳守すること。**WEB以外の方法でのエントリーについては、事務手数料1,000円(税込)が別途必要となります。**

- 3) 各大会とも、クラスごとの予選最多出走台数以上の参加申込は受け付けない。参加の優先順位は先着順とする。なお、WEBエントリー以外の方法で参加申込を行った場合、WEBエントリーにて参加申込をした者全員の後に参加申込順に先着順位を与える。
- 4) 満20才未満のライダーは、事前に事務局より送付される誓約書・承諾書に親権者または保護者の署名、実印の捺印をし、その印鑑証明書(3ヶ月以内に取得したもの)と併せて参加受付時までに提出しなければならない。

ただし、事前に「年間誓約書・承諾書」を提出したレースに限り、申請時に提出された1通の印鑑登録証明書を年間有効とする。

**※都度の印鑑証明書提出は必要なくなりますが、毎戦、誓約書への署名、押印は必要になります。**

上記の書類を参加受付時までに完全に提出できないものは、いかなる理由があろうと競技に参加することはできない。

- 5) ライダーおよびピットクルーは参加申込に際し、**誓約文に同意しなければならない。**
- 6) 正式受理後に参加を取り消す者には参加料は返金されない。
- 7) 参加を拒否された者に対して参加料全額が返還される。

## 第9条 受理書、クレデンシャルパスならびに車両通行証

- 1) 参加申込が正式に受理された参加者には「正式参加受理書・公式通知・その他」登録された E-MAIL アドレス宛に送付される。
- 2) 参加者・ライダー・ピットクルー等は大会組織委員会から発行されたクレデンシャルパス、車両通行証を常時、明瞭に確認できる様、必ず携帯もしくは貼り付けておかなければならない。
- 3) 交付されたクレデンシャルパス、車両通行証は他に貸与したり転用してはならない。
- 4) クレデンシャルパス、車両通行証の紛失、破損等した場合は大会事務局にて手続きを行い再発行を受けること。再発行手数料は 2,000 円とする。
- 5) クレデンシャルパス、車両通行証を偽造した場合は、当該ライダーに失格を含む罰則が科せられる場合がある。

## 第10条 参加車両

JSB1000、ST1000、ST600、J-GP3、JP250 車両は 2020MFJ 国内競技規則に合致した車両とする。

## 第11条 チーム名

- 1) チーム名は 20 文字 (AP)、15 文字 (SPA)、20 文字 (HSR) 以内とする。大文字、小文字に関わらず指定文字数を超えるものは削除または短縮する。(プログラム掲載は指定文字全記載、タイミングモニター、リザルトでは切れる場合があります。)
- 2) 参加申込み時点で登録したチーム名を変更する場合は、変更手数料 1,000 円 (税込み) と必要書類を添えて競技会事務局宛に提出すること。
- 3) スポンサー名等を含むチーム名は参加申込みの車両名登録の際、所定の欄に記入して競技会事務局の了承を得なければならないが、主催者が発行または発表する公式プログラム、公式結果発表書類や場内放送などに特別な車両呼称を強要することはできない。
- 4) 公序良俗に反するものであってはならない。

## 第12条 決勝最多出場台数・決勝周回数

会場	決勝最多 出場台数	クラス	決勝周回数
HSR 九州	32	JSB1000/ST1000/ST600/J-GP3/ JP250/S80	12Laps
SPA 直入	25	ST600/J-GP3/JP250/S80	20Laps
AUTOPOLIS	48	JSB1000/ST1000/ST600	10Laps
		J-GP3/JP250/S80	9Laps

※ウエット時 (ウエットレース宣言中) 決勝周回数を「2 周を基本として減算」する場合がある。

## 第13条 参加受付

ライダー、ピットクルーは公式通知で示された時間内に下記のことを提示の上、参加受付を行い出場資格の確認を受けなければならない。

- 1) 正式参加受理書
- 2) 当日有効な MFJ ライセンス (ライダー、ピットクルー)
- 3) その他主催者が提出を義務にした書類
- 4) 未成年者は、親権者の承諾書 (実印の押印) / 印鑑証明書

#### 第 14 条 ライダーのエントリー、変更ならびにダブルエントリー

- 1) 受理書発送後のライダー変更は認められない。
- 2) ライダーの同一競技会の他クラスへのダブルエントリーは認められるが、一つの競技がもたらす次の競技への影響については一切考慮されない。
- 3) ダブルエントリー車 (同一車両) を同一競技会の複数クラスに使用する場合、いずれのクラスの車両規定にも合致していること。なお、同一車両を複数のライダーが使用することはできない。(耐久レースは除く)
- 4) ダブルエントリー車で、一つのクラスの車両保管中に他のクラスに出走する必要が生じた場合には、競技監督の許可を得て他のクラスに出場すること。また、その車両の部品交換が生じた場合は、その都度、車検長に前もって申し出て、部品交換後、検査に合格しなければならない。

#### 第 15 条 参加者の遵守事項

- 1) 参加者は、参加申し込みをする際、ならびに出場する大会の前日に、本規則第 38 条にて定める「九州ロードレース選手権特別規則ブルテン」にて規則の変更や追加を確認しなければならない。(P18 参照)
- 2) エントラントは自分が指名したチーム監督、ライダー、ピットクルーならびにゲストに対して諸規則の遵守と安全の確保について徹底させておく義務があり、これらの人々の言動や事故について、その最終的責任を負わなければならない。また、チーム監督、ライダー、ピットクルーならびにゲスト自身も同様にそれぞれの責任を負うものとする。
- 3) 施設に対する損害賠償義務  
エントラントは、自分が指名したチーム監督、ライダー、ピットクルーならびにゲストなどが施設の器材、備品、消耗品、車両などに損害を与えた場合や消耗した場合はその原因の如何を問わず補償の責任を負うものとする。
- 4) 16 才未満の者はピットエリア、サインボードエリアへの出入りは禁止される。
- 5) 競技車両および主催者が特に認めた車両を除き、レース場のいかなる場所においても自動車登録番号 (ナンバープレート) が無い車両は使用が禁止される。
- 6) エントラントおよびライダーなどのチーム関係者は競技監督および審査委員会によって事情聴取などを受けるか、もしくは受けた場合は指示があるまでサーキットを離れてはならない。やむを得ない理由により代理人を残す場合は審査委員会の承認を得なければならない。
- 7) 常にスポーツマンとしての態度を保ち、公正に行動し、言動を慎むものとする。
- 8) 薬品などによって精神状態をつくろってはならない。また、酒気を帯びてはならない。
- 9) 許可された区域以外での喫煙が禁止される。※当該喫煙者に対して大会期間中のパドック内への立ち入りを禁止される場合がある。
- 10) 主催者や大会後援協力者、審査委員会、サーキット従業員など大会関係者の名誉を

傷付けてはならない。

- 11) 使用したピットは終了後清掃し、使用済みタイヤ、部品、廃油等はパドック等に放置せず、参加者が必ず持ち帰ること。放置した場合は不法投棄とみなし、罰則が適用される。
- 12) 競技会期間中、コンクリートウォール上デブリフェンス等への立ち上がりや、乗り越える等の行為を一切行ってはならない。

## 第 16 条 走行中のライダーの遵守事項

ライダーは 2020 年 MFJ 国内競技規則第 3 章 15「競技参加者の遵守事項」はもちろんのこと、下記に示した項目も遵守しなければならない。走行中のライダーは次の各項を大会期間中の公式予選・決勝レース全てにおいて守らなければならない。

- 1) 公式車両検査に合格した装備品の確実な着用。
- 2) コース走行は、如何なる場合も逆方向に走行してはならない。
- 3) 競技役員の指示無くショートコースの短絡路、サービスロードなどの規定外の走行路を走行してはならない。
- 4) コース上でのグリーン上カットなどは、危険な状態を回避する場合を除いて行ってはならない。
- 5) 走路外に出た車両が本コースに復帰する時は本コース走行車両が優先することを遵守し、後続車両など他車の妨害にならない様、安全を確認しなければならない。
- 6) 車両をコースに沿って押し進めたり、決勝ラインを越えて押し進めたりすることは許されない。
- 7) 競技中、事故あるいは故障などにより以後の走行の権利を放棄（リタイヤ）する場合はその旨を最も近い競技役員に報告しなければならない。その後ライダーはガードレールの外、もしくはコンクリートウォール上に避難しなければならない。理由もしくは時間の如何を問わず、競技役員に報告することなく、そのライダーがコース上において一時的にも車両から離れた場合、レースを放棄したものとみなされる。なお、ライダーが負傷その他やむを得ない事情で報告することができない場合は競技役員の判定で放棄したものとみなされるが、この判定に対する抗議は受け付けられない。
- 8) 緊急の際、競技中に救急車、消防車、競技役員車、レッカー車などサービス車両がコースを走行したり、必要な作業を行うため駐停車したり、競技役員がコースに立ち入る場合があることをライダーは承知していなければならない。
- 9) ライダーが自己の意思に反して、またはその他の理由により、やむを得ず車両を停止した場合には当該車両をできるだけすみやかにトラックから移動して後続車両の支障とならないように配慮しなければならない。ライダーが単独で車両を移動できない場合には競技役員がこれを援助することができる。再スタートの方法は、競技役員が安全な場所へエンジンを停止状態で移動後に再スタートができる。再スタートの条件は車両に搭載されたスターターで始動するかまたは自力でのエンジン始動ができること。
- 10) 走行中のライダーまたは権限を与えられた競技役員を除き、ピットおよびスターティンググリッド以外に停止している車両に触れることは許されない。
- 11) 何らかの理由の為レーシングスピードで本線を走行できない場合は、(AP・SPA) 進路方向左側、(HSR) 右側を常に走行し、手または足などで後続のライダーにスロー

走行していることを示さなければならない。

- 12) スタート練習は、公式通知等で指定されたスタート練習区域がない限り、一切行ってはならない。

## 第 17 条 主催者の権限

- 1) 参加申込の受付に際して、その理由を示すことなくエントラント、ライダー、ピットクルーを選択あるいは拒否することができる。
- 2) ライダーに対して指定医師による健康診断を要求し、競技出場の健康上の資格について最終決定することができる。
- 3) 競技車両番号の指定、ピット割当などにあたっては各参加者の優先順位を決定することができる。
- 4) 賞典を適宜に追加することができる。
- 5) 大会スポンサーの広告を競技車両に貼付させることができる。
- 6) やむを得ない理由により公式プログラムの印刷に間に合わなかったライダーの氏名登録または変更について許可することができる。ただし参加料・参加申込書・車両仕様書が完全に揃った状態で提出され、競技会事務局長によって受理されたものに限る。
- 7) すべてのエントラント、ライダー、ピットクルーおよびその参加車両の音声、写真、映像、レース結果などに関し、主催者は報道、放送、出版などの権限を有し、主催者が許可した場合、この権限を第三者が持つこともできる。

## 第 2 章 競技規則

### 第 18 条 コースへの進入

- 1) ピットアウト車両はピットレーン出口の信号機に従ってコースインしなければならない。信号機は以下のように表示する。  
【公式予選の場合】
  - ① 緑灯 = コースインできる。
  - ② 青灯点滅 (HSR・SPA : 青灯点灯)、= メインストレート上に走行車両あり。各自の責任においてコースインすること。
  - ③ 赤灯 = コースイン不可  
【決勝レースの場合】
  - ① 緑灯 = コースインできる。
  - ② 青灯点滅 (HSR・SPA : 青灯点灯) = メインストレート上に走行車両あり。各自の責任においてコースインすること。
  - ③ 赤灯 = コースイン不可
- 2) コースインする際はピットレーンとメインストレートとを分離するホワイトラインをカットしてはならない。
- 3) コースイン後は、第一コーナー先まで (AP・SPA) コース左端、(HSR) コース右端を走行し、本コースメインストレートを走行してきた後続車両の走路妨害をしてはならない。
- 4) ピットアウト車両はエンジン始動の際、ピットエンドまではピットクルーの補助を受けてマシンを再スタートすることができる。

## 第 19 条 ピットレーンへの進入

ピットインする場合は走行ラインを（AP・SPA）コース左端、（HSR）コース右端にとり、後続車に手または足などで合図を行った後、安全を確認して最終コーナーポスト前付近のピットレーン入り口のホワイトライン（白色実線）を横切ることなくピットインすること。

## 第 20 条 ピット作業

- 1) 競技車両がピットインした場合、当該車両のピットクルーは自ピットの作業エリアで作業することができる。なお、ピット作業の場合を除いて、当該車両の部品や工具、燃料補給器具を作業エリアに置くことは禁止される。
- 2) ピット作業エリアで作業中の車両に対して当該ライダーが車両から離れて作業を行うこともできる。ただし、作業人員を制限されている場合はその人数を越えて作業を行ってはならない。
- 3) 作業終了後は、ピット作業エリアに置いてある全ての工具・部品・タイヤ等をかたづけなければならない。
- 4) ピットボックス内へ競技役員の指示や許可なく競技車両を移動した場合、決勝レース中においてはリタイヤとみなされる。

## 第 21 条 公式車検

公式車検に車両を提示することは、当該の競技車両が全ての規則に適合していると申請しているものとみなされる。

- 1) 参加受付後、公式車検は公式通知に示されたタイムスケジュールに従って当該サーキット内の所定の場所にて行われる。指定された時間外の車検は、競技監督が特別に認めた場合以外行わない。
- 2) 公式車検では「競技車両」（トランスポンダーの取り付けおよび、アンダーカウルを取り外し、外したアンダーカウルを持参すること）「ライダー装備品」「その他の書類」をライダー本人または、登録されたピットクルーが持参し受検すること。  
※「車両仕様書」は大会毎の公式車検の際、必要事項を記入し提出しなければならない。
- 3) 一度車両検査に合格した「車両」・「装備品」であってもレース後の再車両検査や次大会の車両検査を合格することを保証するものではない。また、当該大会以外での受験実績は一切考慮しない。
- 4) 車検長は如何なる場合も、車両の分解、部品の交換を指示することが認められ競技参加者は車検長の指示に従わなければならない。
- 5) 車載カメラ搭載を希望するエントラントは公式車両検査時（車両仕様書内に記載された箇所へ、署名捺印）公式車両検査にて取付に関する車検長の確認を必要とする。また、撮影された映像は個人鑑賞に限られ、その他の使用に際しては大会組織委員会の許可を必要とする。  
なお、車輛以外への取り付け（ライダー・ヘルメット等）は認めない。

## 第 22 条 ライダーズブリーフィング

- 1) 遅刻・欠席者に対しては再ブリーフィングが行われる。再ブリーフィング手数料は遅刻「2,500 円」欠席「5,000 円」とする。

- 2) 競技監督は必要に応じブリーフィングを開催することが出来る。その場合は適切な方法で開催場所・時間が告知される。

## 第 23 条 スタート前チェック

タイムスケジュールに従って、決勝レース出場者は、指定された場所にて、必ずスタート前チェックを受けなければならない。

チェックを受けるものは、公式車検にて合格した車両とヘルメットとする。

車両は決勝レースが走行できる状態で持ち込むこと。(転がしタイヤの装着は禁止)

## 第 24 条 公式予選

- 1) 義務周回数は定めない。
- 2) 大会審査委員会は予選通過基準タイムをクリアできなかったライダーに対して各大会の特別規則に示される決勝出走台数(グリッド数)を超えない範囲で特別に決勝出走を認めることができる。ただし、暫定結果発表後 30 分以内に嘆願書を大会事務局に提出すること。また、決勝レース出走については大会審査委員会で審議の上決定する。  
なお、決勝出走が許可された場合にはグリッド表にて発表される。

## 第 25 条 決勝グリッド

- 1) スタート方式はクラッチスタートとする。
- 2) スターティンググリッド
  - ① 1 列に 3 台とし、各列交互に配列される。
  - ② 階段状グリッドを使用する。
  - ③ ポールポジション・・・AP・HSR：最前列左側、SPA：最前列右側、とする。ウォームアップラップ開始時、ピットエンドはウォームアップラップスタート後、セーフティーカーが 5 番ポスト (AP)、3 番ポスト (SPA)、3 番ポスト (HSR) 通過後、もしくはウォームアップラップ開始後、ピットエンドがオープンされた 20 秒後 (AP)・15 秒後 (SPA)・20 秒後 (HSR) にクローズとなる。ピットエンドクローズまでにコースイン出来なかった車両は、ピットスタートとする。また、コースインしたが、セーフティーカーが定位置に停車するまでに追越すことが出来なかった車両については、ピットインし、ピットスタートとする。
  - ④ スタート合図はグリッド前方シグナルライトもしくは日章旗によって行われる。

## 第 26 条 レース終了

各レースの終了合図は、チェッカーフラッグの表示により示されトップ車両がゴールした後、次の経過した時点とする。

サーキット	経過時間
HSR 九州	3 分間
SPA 直入	3 分間
AUTOPOLIS	5 分間

チェッカーフラッグを受けた車両は、コースを 1 周してピットレーンに進入し、競技役員の指示に従うこと。

## 第 27 条 仮表彰

- 1) レース終了後、最大上位 6 名のライダーに対して仮表彰が行われる。なお、場所については公式通知に示す。
- 2) 仮表彰を拒否したライダーは賞典を受ける権利を放棄したとみなされる。

## 第 28 条 レース終了後の車両保管、再車検

- 1) 原則として各クラス上位 6 台が車両保管場所に一定時間保管される。それらの車両は審査委員会の指示がない限り、正式結果発表までその場で保管される。※出走台数により賞典が制限される場合、その台数分を車両保管する。
- 2) 車両保管場所への出入りは担当の競技役員のみ許される。
- 3) 競技監督の許可がない限り、いかなる者も保管中の車両に手を触れることは禁止される。
- 4) 決勝レース終了後、車検長が指定した車両は再車両検査（分解整備ができる工具等を持参し）を受けるものとし、大会審査委員会、競技監督はさらにレースに参加した他の車両を検査させることができる。  
なお、再車検を拒否した場合は最大失格までの罰則が科される。

## 第 29 条 大会賞典

賞典の対象者は最大 6 位までとし、参加台数により制限されるものとする。

## 第 3 章 参加車両規定

### 第 30 条 車両規則基本仕様

- 1) 2020 MFJ 国内競技規則に準ずる。
- 2) S-80 車両規定
  - ① 出場車両  
2st 85 cc以下、4st 150 cc以下のホイールサイズ 16 インチ以上の車両
  - ② 車両規定
    1. タイヤはスリックタイヤ、レーシングタイヤ含め自由とする。  
摩耗限度を超えたものの使用とグルーピング、カッティングは禁止する。  
タイヤウォーマーの使用を可とする。
    2. 音量を 105db 以下とする。(レース終了後は+ 5db まで認める)

### 第 31 条 フロントゼッケン

- 1) オートポリス・SPA 直入でのフロントゼッケン貼り付け位置については、センターまたは車体左側とする（計時がコース左側となるため）。  
HSR 九州については、センターもしくは、車体右側とする（HSR については計時がコース右側のため）。  
なお、フロントゼッケンを左右に貼り付けることも可能。ただし、左右単独で判別できるよう間隔を取ることを。

- 2) 2019 年度国際クラスランキング 1 位の選手についてのみ、ゼッケン「1」の使用を認める。また 2019 年度国内クラスランキング 1 位の選手についてのみ、ゼッケン「01」の使用を認める。なお、チャンピオンゼッケン「1」「01」に限り字体・色は自由とするが判読しやすいものでなければならない。
- 3) チャンピオンゼッケン対象者

	JSB1000	ST600	J-GP3	JP250
INT	相馬 利胤	植垣 創平	該当者なし	該当者なし
NAT	鶴田 欣也	牧田 颯生	大田 隼人	豊原 由拓

- 4) ナンバープレートの配色は以下の通りとする。

クラス	地色	文字色
Int JSB1000	自由	黒または白
Int ST600	白	黒
Int J-GP3	赤	白
Int JP250	赤	白
ST1000	紺	白
Nat ST600	白	黒
Nat J-GP3 (4st)	赤	白
Nat J-GP3 (2st)	黒	白
Nat JP250	白	黒

※文字は艶消しのゴシック体を基準とし、影つき文字は認められない。また、地色の蛍光色使用は禁止する。

## 第 32 条 自動車番読取装置（トランスポンダー）

- 1) 各主催者により自動車番読取装置の取り付けを義務付けられた場合はこれに従わなくてはならない。拒否した場合、当該車両ならびにライダーの出場は認められない。
- 2) 自動車番読取装置の配布は参加受付時に行う。返却期限は出場したレースの終了後 1 時間以内とする（予選敗退者の返却は当該予選終了後 1 時間以内）。なお、紛失・破損等があった場合、主催者より代金を請求される場合がある（請求額は主催者ごとに定める）。
- 3) 自身の所有する、MY Laps 社製トランスポンダー（マイポンダー）の使用を希望する者はその ID を添え事前に事務局に申請すること。ただし、計時長が指示した場合ただちに、主催者が準備する自動計測装置を取り付けること。

## 第 33 条 使用ガソリン

参加車両が大会期間中に使用できる燃料は当該サーキット内で販売されている燃料とする。

- 1) ガソリン性状表は、各主催者が別途公示する。
- 2) ガソリン購入証明書提示期限は公式車両検査終了までとするが、やむを得ず公式車両検査までに提示できない場合は、車検長に承諾を得ること。（※ガソリン購入証明書は、購入時のレシートを証明書とする。）

## 第4章 その他

### 第34条 2020九州ロードレース選手権シリーズランキング

下記の通り、JSB1000・ST1000・ST600・J-GP3・JP250・S80クラスの九州ロードレース選手権インター・ナショナルシリーズランキングを決定する。

- 1) 当選手権シリーズで得た全ての得点を合計し、総合得点の多い者から順位を決定する。
- 2) 上記1)で同点となった場合、ポイント獲得の有無に関わらず上位順位獲得回数の多い者を上位とする。

例：同点の者同士で、1位を獲得した回数で比較し、多い者が上位。これでも同位の場合、2位を獲得した回数で比較する。以下、下位まで同様に比較する。

- 3) 上記2)で決定できない場合、最終戦の上位者を上位とする。
- 4) 上記3)で決定できない場合、最終戦に最も近い大会において、より上位の順位を獲得した者を上位とする。
- 5) 上記4)でも決定できない場合は同順位とする。

### 第35条 シリーズ賞典

- 1) 各クラス1位～6位に正賞（トロフィー）を授与する。  
シリーズ表彰基準：開催各クラスはその開催数の60%以上終了していること。
- 2) シリーズ表彰対象者は、シーズン中2回以上参戦していること。

シリーズ*年間平均参加台数	シリーズ表彰対象順位
12台以上	上位6位まで
10～11台	上位5位まで
8～9台	上位4位まで
6～7台	上位3位まで
5台	上位2位まで
4台以下	1位のみ

※参加者がいない大会でも、1戦としてカウントする。

シリーズ年間表彰賞金細目  
賞金総額 63万円（税込）

順位	JSB1000	ST1000	ST600	J-GP3
1	60,000円	60,000円	60,000円	60,000円
2	50,000円	50,000円	50,000円	50,000円
3	40,000円	40,000円	40,000円	40,000円
4	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円
5	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円
6	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円
合計	210,000円	210,000円	210,000円	210,000円

シリーズ終了後、シリーズ年間表彰式を行い、表彰式にて正賞ならびに賞金目録を授与する。賞金はインターナショナル（国際）クラスのみとする。

### 第36条 大会役員の責任

参加者、ライダーおよびピットクルーは主催者・大会役員・競技役員および係員が一切の

損害賠償の責任を免ぜられていることを知っていなければならない。すなわち、大会役員はその職務に最善を尽くすことは勿論であるが、その行為によって起きた参加者、ライダー、ピットクルーの負傷・死亡および競技車両の損害に対して主催者・大会役員・競技役員および係員は一切の補償責任のないことをいう。

### 第 37 条 本大会特別規則の解釈

規則の解釈、および判断に混乱が生じた場合、参加者は文章によって質疑することができる。質疑に対する回答は FIM 国際競技規則、および MFJ 2020 国内競技規則に基づいた大会審査委員会の解釈または決定を最終のものとし、質疑者に口頭にて回答される。

### 第 38 条 大会特別規則ブルテン

主催者は年度途中においても特別規則について見直しを行う場合がある。

その内容は、九州ロードレース選手権シリーズ特別規則ブルテンで発表される。また、第 37 条の本規則解釈についても、統一の解釈をブルテンで発表する場合がある。

発表は下記ホームページとする。 <http://www.autopolis.jp>

上記ホームページにてブルテンを確認できない参加者は、各主催者へ申し出て、ブルテンを郵送にて受け取ること。

### 第 39 条 公式通知

本規則に記載されていない競技運営上の細則や、参加者に対する指示、本規則発表後に生じた必要指示事項は、公式通知によって公示される。

公式通知は、

- ① 参加者が参加申込時に登録した E-MAIL アドレスに送付される。
- ② 各主催者のホームページに掲載される。
- ③ 大会事務局にて配布される。
- ④ 各競技会場の公式掲示板に掲出される。
- ⑤ ライダースブリーフィングで配布される。
- ⑥ 緊急の場合は場内放送で伝達される。

以上のいずれかの方法によって参加者に告知される。

### 第 40 条 負傷時の医療室受信義務

転倒・事故等により負傷した場合、必ず各サーキットメディカルセンターにて受診し記録を残さなければならない。また、負傷の度合いにより下記の応需病院に搬送される場合がある。

#### 【オートポリス】

川口病院：	熊本県菊池市隈府 823-1	TEL：0968-25-2230
熊本セントラル病院：	熊本県菊池郡大津町室 955	TEL：096-293-0555
菊池中央病院：	熊本県菊池市田井島 1-5-1	TEL：0968-25-3141
済生会熊本病院：	熊本県熊本市南区近見 5-3-1	TEL：096-351-8000

#### 【SPA 直入】

大久保病院：	大分県竹田市久住町柏木 6026-2	TEL：0974-64-7777
--------	--------------------	------------------

大分三愛メディカルセンター：	大分県大分市 1213	TEL：097-541-1311
大分大学医学部付属病院：	大分県由布市狭間町医大ヶ丘 1-1	TEL：097-549-4411
永富脳神経外科病院：	大分県大分市西大道 2-1-20	TEL：097-545-1717
<b>【HSR 九州】</b>		
熊本セントラル病院：	熊本県菊池郡大津町室 955	TEL：096-263-0555
熊本赤十字病院：	熊本県熊本市東区長嶺南 2-1-1	TEL：096-384-2111

## 第 41 条 その他

本大会特別規則に示されていない事項は 2020MFJ 国内競技規則に基づく。

## 第 42 条 規則の施行

本規則は 2020 年 1 月 1 日より施行する。

**【予告】2021 年シリーズより、音量規定を変更します。**  
 ※サーキット近隣住民への配慮の為、九州ロードレース選手権では 2021 年シリーズより独自の音量規定を設けます。具体的な数値に関しては、後日公示いたします。  
 皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

### 特別スポーツ走行（練習走行）のご案内

- 1) 各サーキットのコースライセンス規定に従った上で、各大会毎に設定される特別スポーツ走行に参加することができます。
  - ★ HSR 九州ライセンス
    - ① 正ライセンス：新規取得料 24,200 円 (MFJ ライセンス取得者対象料金)
    - ② 暫定ライセンス：5,000 円 開催日含め 10 日前より発給開始。
  - ★ SPA 直入 コースライセンス
    - ① 正ライセンス：新規取得料 22,000 円 18 歳未満：16,500 円、4 半期ごとに変動
    - ② 暫定ライセンス：5,000 円 開催日含め 10 日前より発給開始。
  - ★ AUTOPOLIS コースライセンス
    - ① 正ライセンス：新規取得料 27,500 円 18 歳未満：22,000 円、4 半期ごとに変動
    - ② 暫定ライセンス：5,000 円 開催日含め 10 日前より発給開始。

※金額は全て税込み
- 2) 参加を受理されたエントラントの方にはスポーツ走行に関する詳細の案内をお届けいたします。

詳しくは、各主催者にお問い合わせください。

**RIDING** RIDERS SPIRIT FROM  
MOTORCYCLE SCENES **SINCE 1982**  
**SPORT**

 ***DUNLOP***

 ***BRIDGESTONE***

**— BRAINS —**  
**SUPER POTENTIAL OILS**

# 建築マニア<sup>®</sup>

KENCHIKU MANIA



[www.kushitani.co.jp](http://www.kushitani.co.jp)

## RSC RACING SERVICE CENTER

2&4 モータースポーツのトータルメンテナンスサービス

株式会社アール・エス・シー

〒869-1231 熊本県菊池郡大津町平川1784-1

2輪グループ TEL:096-293-3505

4輪グループ TEL:096-294-0829

[www.honda-rsc.com](http://www.honda-rsc.com)

H-DESIGN  
CREATIVE WORKS Co.,Ltd.



# H-DESIGN

CREATIVE WORKS Co.,Ltd.

H-DESIGN  
CREATIVE WORKS Co.,Ltd.

H-DESIGN  
CREATIVE WORKS Co.,Ltd.

イベント総合プロデュース



# 大和産業株式会社 DAIWA ACT

●大分営業所 大分県大分市大字光吉910番地  
TEL/097-504-7333 FAX/097-504-7337

【E-mail】daiwa-ooita@mb.e-broad.ne.jp

モータースポーツパラダイス

# うかれ亭

TEL・FAX 0973-55-1466

ホームページ <http://www4.ocn.ne.jp/~ukaretei/>

企画

制作

印刷

カレンダー

通販型広告

ホームページ作成

共に感じあえるパートナーに

# eyecatch

CREATIVE & THEORY CO.,LTD.

[www.eyecatch.co.jp](http://www.eyecatch.co.jp)

着地型観光地作り

新商品開発

販路開拓

動画作成

海外進出支援



【本社】〒861-8043 熊本市東区戸島西2丁目2番65号

TEL:096-365-4000 FAX:096-365-4441

【博多オフィス】〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-2-2 博多東ハニービル403A

TEL:092-260-3015 FAX:092-260-3016



- 外構工事一式
- 建設機械リース・中古販売

TEL・FAX  
096-221-5926



株式会社 コウセイ

Kousei

■総合建設業 ■塗装防水 ■運送

代表取締役社長 中川 治成 ☎0120-774-418

レースの為に誕生したのがこの RIVAUX WATCHES

**RIVAUX®**

WATCHES



**rivauxjapan.com**

時計のお求めは RIVAUX まで

***D.C.FOREST***

Driver's Cafe Forest

本店: 福岡県京都郡苅田町京町1-4-5

支店: 福岡県京都郡苅田町神田町3-15-20

TEL:093-434-0077 FAX:093-434-4455

## 【サポート協賛各社】

株式会社オフィスとらくしょん  
(第2戦、第3戦、第5戦、第6戦)

高橋商事株式会社

株式会社アライヘルメット

アールケー・ジャパン株式会社

バギー株式会社

株式会社ラベン

株式会社谷尾商会

日本特殊陶業株式会社

三和化成工業株式会社

国美コマース株式会社

ピレリジャパン株式会社

大同工業株式会社

EPL

テクノイル・ジャポン株式会社

日本ミシュランタイヤ株式会社

株式会社和光ケミカル

株式会社クシタニ

株式会社ヒョウドウプロダクツ

SUNOCO 九州販売株式会社

グリップ商事株式会社

住友ゴム工業株式会社

(順不同)

レース結果は  
こちらから  
ご覧いただけます



<https://autopolis.jp>

## オートポリス公式SNS





**AUTOPOLIS**  
INTERNATIONAL  
RACING COURSE

**SPA**  
**NAOIRI**  
YOUR RACING COURSE

